

# 小規模事業者への信用保証制度は・中学校の部活動は

9月議

緒方正子議員、榎原久留米市長へ一般質問

緒方 正子議員の発言

・緒方正子議員は、九月の定例議会で九日、一般質問に立ち、小規模事業者対策・中学校の部活動のあり方について一般質問に立ちました。

## 小規模事業者対策・信用保証制度の役割

(一)信用保証制度の改善について

質問

一、国は小規模事業者への融資の保証を現在の八十%を五十%にするというが、これは小規模事業者への融資を借りにくくするもので辞めるべきと国へ上申すべき。お考えは。

二、新借換え制度で新たな借入れの保証料を市で助成をしたらどうか。

(二)小規模事業者の実態とその対策は

質問

一、久留米の小規模事業者・個人事業者の実態調査をすべき。お考えは。

二、小規模事業者への今後の対策はどうか。

榎原久留米市長

・保証制度の今回の見直しは必要と考える。今後の動きを注視していく。  
・助成ではなく、専門家の派遣、利率の引下げを利用しただきたい。

徳永商工労働部長

・実態調査は国の毎月の景況、商工会議所の地場の景況を参考にしている。今後も指標を参考にしていきたい。

## 中学校の部活動のあり方について

(一)部活動の現状と課題は

質問

- ア、教員の長時間労働について。
- イ、長時間・休日なしの練習について。
- ウ、保護者の負担について。
- エ、生徒の校区外からの就学について。
- 一、右の四項目の現状の把握は、又課題はなにか。
- 二、各学校にどのような指導をしているか。
- 三、今後の対策は。

堤教育長

- ・県の教育委員会の調査では一日約二時間三〇分が平均で部活動の指導が要因の一つ。
- ・大会の参加、練習試合で休養が出来にくい。
- ・練習着や道具の費用、遠征の送迎など。
- ・生徒や保護者の希望で住所変更して就学している生徒もいる。部活動が過熱している状況もある。
- ・月曜日ノーマルデーの周知徹底と適正な教育活動となるよう適切な運営の指導・助言をしていく。
- ・緒方正子議員は、部活本来の趣旨は生徒と教職員が自主的に行なわれるもの。
- ・部活の聞き取りは学校・保護者・生徒からかもしれないと正確な把握ができないのではと詰め寄りました。



「おがた正子相談所」で親身にアドバイス



久留米市消防出初式



民商婦人部バザー



市政報告をする緒方議員



こみ裁判門前集会



人通りが少ない中心市街地商店街

# 市の出前講座の講師の研修指導は・市民税の特別徴収

12月議

市民の立場で榎原市長へ一般質問

・緒方正子議員は十二月定例議会で八日、市の出前講座と市民税の特別徴収について一般質問しました。

## 市の出前講座について

・久留米市の出前講座について、市民のみなさんの声を調査したが、大半がパンフレットの棒読みで解りにくかった。もっと市民の目線で話してほしいと要望が多かった。

(一)現状とその成果は

質問

- 一、出前講座の開催数と参加数は、前年と比較してどうか。
- 二、成果と教訓は。
- 三、参加者の声はどうか。

(二)講師の研修と指導は

質問

一、講師の指導と研修はどうしているか。今後、どう改善していくか。

榎原市長

- ・一昨年度は二九五回、九一三三人の参加。前年度は二九二回、一万一〇〇人の参加。おおむね好評。
- ・市が回収した主催者によるアンケートを参考にスキルアップをしていく。

## 市民税の特別徴収について

・従業員を雇用している事業主は、給与から天引きして市民税を徴収する制度を福岡県は平成二十九年から実施すると発表。

(一)従業員の個人番号(マイナンバー)を記載した住民税通知書の送付について

質問

- 一、従業員が提供していない個人番号(マイナンバー)を特別徴収通知書に記載して送付するのか。
- 二、送付は書き留めにするのか。
- 三、個人情報漏洩に繋がると思われるが市の考えは。
- 四、事業者の安全管理体制も含めた、罰則や負担増をどう思うか。

(二)小規模事業者への特別徴収の強化について

質問

- 一、特別徴収の税法があるにも係わらず今まで徹底しなかったのは何故か。
- 二、その責任はどう考えるか。
- 三、せめて三年間の経過措置を取るべきではないか。

野田市民文化部長

- ・今のところ送付する予定。書き留めは検討中。負担は事業主にも徹底されている。
- ・平成二十三年に宣言を採択、その後広報活動チラシ送付、年末調整の説明会等で伝えている。と零細業者の実情を無視した答弁でした。
- ・緒方正子議員は、県は一年間、延長できるとしているが久留米はどうか。とつめ、市も一年間は据え置くとこれを認めました。